

安全で安心な輸送を提供し続けること

日頃からアルピコ交通のバス、鉄道をご利用いただき、誠にありがとうございます。

また、バス停や交差点周辺での大型バスの運行や鉄道踏切などに対するご理解とご協力、あらためて感謝申し上げます。

2020年度は、新型コロナウイルスという今までに経験したことのない脅威により、都市間高速バスの運休や一部路線バスの減便、貸切バスの運行中止など、バスをご利用いただく多くの方に多大なご迷惑をおかけし、また会社経営にとっても極めて厳しい影響を受け、未だ先の見通せない状況が続いています。そういった中、乗務員の体調確認や検温の徹底、運転中のマスク着用、窓開けや外気導入空調の活用、帰庫後の清掃消毒、鉄道車両内の抗菌処理などの感染対策を実施する一方、ご利用のお客様にもマスクの着用、飲食や大きな声での会話を控えていただくなどのご協力をいただきながら、徐々に運行再開させておりますが、まだ元通りの運行には至りません。

一刻も早い終息を願い、運輸事業者としてできる様々な取組を実施し、お客様に安心してご利用いただけるよう継続していきたいと思います。

感染症のまん延や、激甚化する自然災害、あるいはテロといった危険は、いつでも起こりうるということを再認識して、慣例にとらわれることなく、時代に即して柔軟に見直しながら、安全管理体制と接客レベルの更なる高度化を目指します。

アルピコ交通は2020年に創業100年を迎えました。2021年はこの先の100年に向けた始まりの年です。全社員で心を新たにし、安全で安心な輸送を提供し続けることが当社の使命であることを心に刻み、日々の業務にあたって参ります。



2021年12月1日

その先の一步を。

アルピコ交通株式会社

代表取締役社長 小林 史成